

## 働き方改革実践モデル校：笠間小学校・笠間中学校2年間の取組

笠間市笠間小学校と笠間中学校は、教職員の超過在校等時間の削減に向けた実践研究を通して、本県教職員の働き方改革の実現に資するために、以下のような工夫を重ねてきました。細やかな取組とご努力に感謝します。



詳しくは、県教育委員会ホームページをご覧ください。茨城県教育委員会>教育事務所>水戸教育事務所「教職員の働き方改革」

管内教育委員会・学校の「働き方改革に向けた好事例」も紹介されています。各学校での取組に生かしてください。(左写真：両校の職員研修の様子)

### 笠間市立笠間小学校の取組

#### 1 5時間授業の実施

夏休み5日間の授業日20時間のうち、18時間を総合的な学習の時間・2時間を教科の授業を実施した。10月以降、3～6学年が5時間授業日を週1日増設した。

#### 2 ICTを活用した授業改善の推進

意見の交流場面に効果のあるアプリ「ジャムボード」は授業改善に効果的であった。

#### 3 教育支援ボランティアの活用

現在41名の登録があり、令和3年11月現在で参加行事数12回、参加総数53名である。ボランティアの内容は、教職員からの要望で決められた16項目で実施した。

#### 4 ICT活用による業務軽減

- (1) ICTサポーターの活用…端末の活用による健康観察システムの運用等
- (2) 端末の活用による業務改善…全校集会行事のオンライン化による時間の削減等
- (3) AI型ドリルや学習支援ソフトを活用した自主学習の推進

#### <2年間の成果と課題>

- 【成果】・月当たりの超過在校時間平均を10～32時間減らすことができた。  
・教職員の意識改革が進み、超過在校時間80時間以上を0人にできた。
- 【課題】・長時間勤務になっている教職員の業務内容の見直し・改善を図る。  
・教育支援ボランティアのさらなる活用を推進する。



### 笠間市立笠間中学校の取組

#### 1 ICTの活用

- (1) Google フォームの活用  
ア 単元テストの自動採点…約3時間を要していた採点が35分程度で実施できた。  
イ 生徒会役員選挙の投開票…約5時間を要した印刷・投票・開票等の作業が不要となった。  
ウ 各種アンケート調査の集計…印刷や配付、収集や集計に伴う業務が不要となった。
- (2) デジタル教科書の活用…教師がインターネット等を用いて検索する時間が削減できた。

#### 2 5時間授業の実施

夏休み4日間、総合的な学習の時間の学校外学習活動を実施し、5時間授業日を実施した。

#### 3 改善意欲の維持向上ための施策

- (1) 超過在校等時間の視覚化 (HPに参考資料を掲載)
- (2) 個に応じた対策の立案…個に応じた支援策を立案 (HPに参考資料を掲載)

#### 4 部活動の削減…複数顧問制の適正実施のため、本校においても部活動数の削減を検討

部活動紹介動画視聴 → 部活動見学を実施 → 希望する部活するアンケート (小学4年生実施)

#### <2年間の成果と課題>

- 【成果】・効果的な方法を職員間で共有することで、効率的に業務を遂行できるようになった。  
・超過在校時間等を減らしながらも、95.3%の生徒が「学校は楽しい」と回答した。
- 【課題】・新規採用職員と異動初年度職員には、見通しをもった効率的な業務遂行が難しかった。  
・部活動に関連した各種団体による大会の運営、教科に関連して関ブロなどの研究会等の運営に携わる職員の業務量を削減することが難しかった。